

# 藤原鋼材 座間の耐震補強完了

## 外壁刷新、LED化も

関東地区の鋼材流通、藤原鋼材（本社Ⅱ 東京都港区、藤原雅之社長）はこのほど、座間支店・工場（神奈川県座間市）の耐震補強

工事が全面的に完了した。BCP（事業継続計画）対策の強化に加え、各建屋の外観リニューアル、照明のLED化も実施した。



耐震補強工事、外観のリニューアルなどを行った工場・倉庫

座間支店は1968年に開設。併設する工場は69年に開き、築50年が経過するなど、建屋の老朽化が顕著となっていた。設計・工事は工場稼働を維持しながらの建て替えを得意とする「ヨシザワ建築構造設計」

が担当した。耐震部材などの補強工事を行ったほか、外壁も明るい色調に刷新。昨年に完

工した工場棟に続き、倉庫棟の耐震工事が9月末に完了した。引き続き続いて入り口の門扉周辺の刷新工事に着手するほか、来年1月にはバンドソーの老朽更新も行い、現場の作業効率化を図っていく。

### 緑地帯



「100年企業を目指していく」と展望を示すのは藤原鋼材の藤原雅之社長。昨年から今夏にかけて約3億円を投じ、座間支店・工場（神奈川県座間市）

## 100年企業目指す

の耐震補強工事、外観のリフォーム、工場のファイバーレーザー切断機増設を実施した。収益方向上やBCP（事業継続計画）対策、人材確保の促進を狙いとしており「100年続けるための施策」と強調する。

工場や営業倉庫のリニューアルを行った。座間支店・工場に続き、将来的には川崎支店（神奈川県川崎市）で新たな投資も視野に入れている。

▽：同社は1955年に創業。これまでの60余年の歩みについて「商社やメーカー、流通、金融機関のバックアップがあってこそ」とし、今後も取引先との連携を強め、100年企業への地盤固めに注力していく。（加）